



# 「笑顔」



## 学習発表会・フルーツコンサート

11日の学習発表会に多数参加していただきありがとうございました。限られた練習時間の中でより良い発表にしたいという意欲をもって、各学級で取り組んできました。その成果をご覧いただけたのではないかと思います。子供たちにとっても、他学年の発表を鑑賞することで、学びを共有し深めることができました。今年度は重点目標の一つに「学んだことを文章や言葉でまとめて、周囲に発信できる子の育成」を挙げて取り組んでいますが、子供たちは着実に成長を続けていると手ごたえを感じています。

午後のフルーツコンサート（山春地区自治協議会主催）では、警察音楽隊の演奏とカラーガードの演技に加え、子供たちによる楽器の演奏やダンスなどの自主発表がありました。PTAや地域の皆さんによる出店は、子供たちも大喜びで思い出に残る一日になったことだと思います。「子供たちの笑顔のために」という実行委員会、PTAの皆さんの思いは子供たちに伝わっています。この山春地区の伝統を守っていきたいという思いを強くしました。お世話をしていただいた多くの皆様に心からお礼を申し上げます。



## 令和版 円形劇場 ～5年生が出演～

23日の嫩葉会(わかば会)結成100周年イベントで5年生のみなさんが発表をしました。時間の都合で合唱と合奏は披露することができませんでしたが、学習発表会の内容をさらに充実させ、見事な発表で円形劇場に集まった多くの聴衆から大きな拍手をもらいました。100年前の山春地区の若者が成し遂げた偉業を、子供たちの言葉や演技で伝えることができ、「素晴らしい発表で感動しました。」「感動して涙が出ました。」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。



## 12月4日から10日は人権週間です

21日にうきは市人権・同和教育研究協議会学校教育部会の授業研究会が山春小学校で行われ、1年生の学級活動の学習を公開しました。「わたし だいすき はっけん」という教材を使い、自分の好きな色を友達に伝える活動を通して、一人一人の違いを認め合うことの大切さに気づくとともに、安心して発表できる雰囲気をつくるための聞き方についても考える学習でした。

4日からの人権週間では、「『誰か』のこと じゃない」をキーワードに、人権問題を自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合う社会をめざし、様々な行事があります。うきは市では、3日に白壁ホールで人権フェスティバルが開催されます。今年は山春小のステージ発表はありませんが、子供たちの「将来の夢」を書いた作品が展示されますので、ぜひご参加ください。6日の学級懇談会でも人権を守る取組についてお話しします。

## 「生きる力」を育てる

最近冷え込む日が増えてきて、登校時には手袋などを着けている子が多くなっています。寒い中での通学は大変だと思いますが、心身のたくましさを身につけるためにも、徒歩で登校することは大きな意義があります。距離が遠すぎたり危険な場所があったりして、健康面・安全面から送迎がやむを得ない場合があることは十分理解しています。登下校のことに限らず、社会に出て生きていける力を段階的に身につけさせるという視点で、必要なサポートを考えていただけたら幸いです。